

~多発性硬化症に関する情報を紹介するサイト~

多発性硬化症.jp



多発性硬化症 (MS) とは

MSはこんな病気です

【総監修】

医療法人セレス さっぽろ神経内科病院 院長 深澤 俊行 先生

どんな病気？

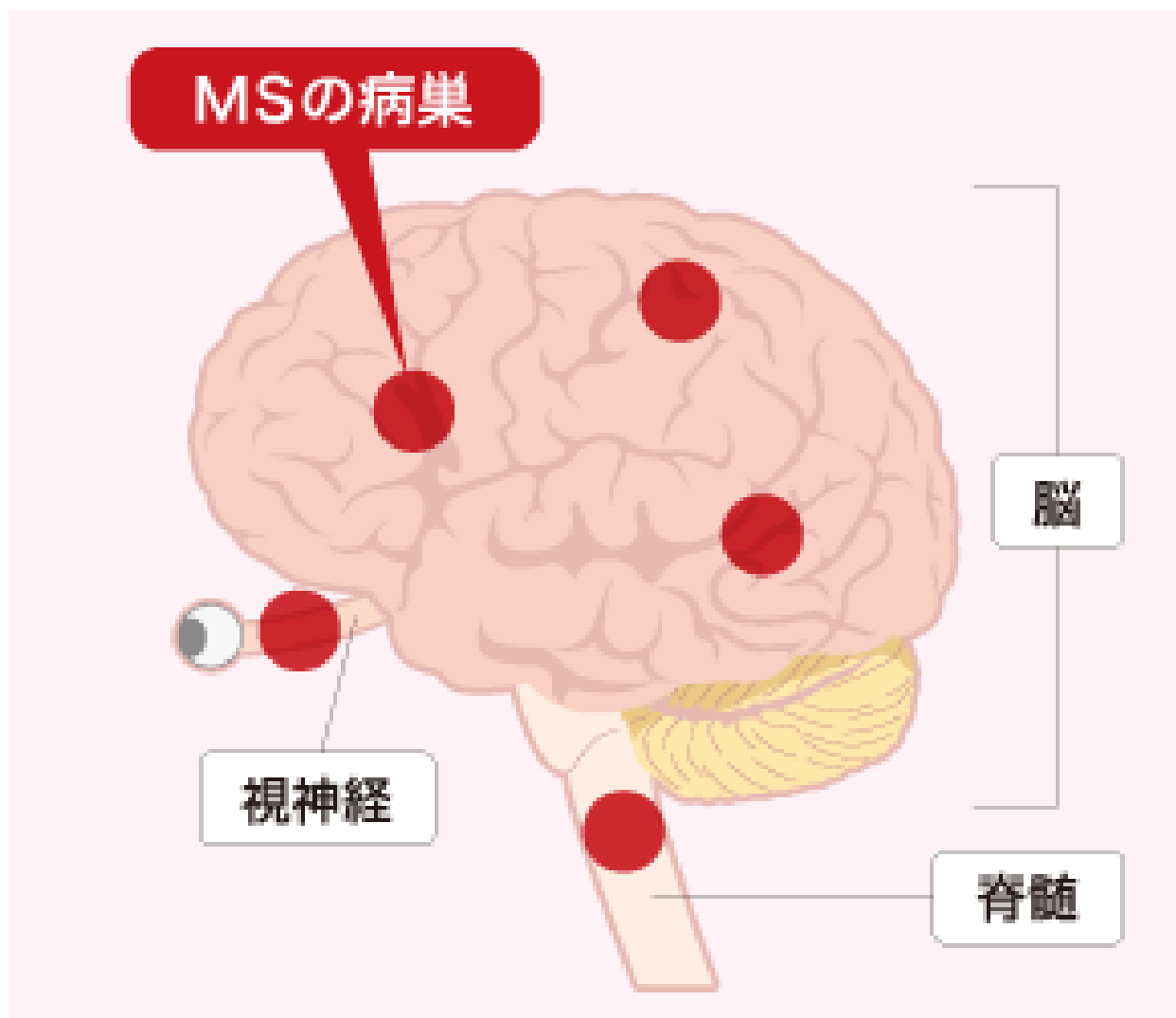
脳や脊髄^{せきずい}、視神経のあちらこちらに病巣^{びょうそう}ができ、症状が「再発」したり「寛解^{かんかい}」したりを繰り返す病気です

多発性硬化症 (MS) は、脳や脊髄、視神経のあちらこちらに病巣ができ、様々な症状が現れるようになる病気です。MSになると多くの場合、症状が出る「再発」と、症状が治まる「寛解」を繰り返します。

なお、多発性硬化症は英語で“**M**ultiple (空間的・時間的に多発する) **S**clerosis (硬化)”といい、その頭文字をとって“**MS** (エムエス)”と呼ばれています。

● 病巣のできる場所

脳、脊髄、視神経のあちらこちらにできる



● 症状の起こり方

多くの場合、「再発」と「寛解」を繰り返す



何が起きているの？

MSでは、神経細胞の軸索^{じくさく}を覆っている「ミエリン」が障害（脱髄^{だつずい}）されます

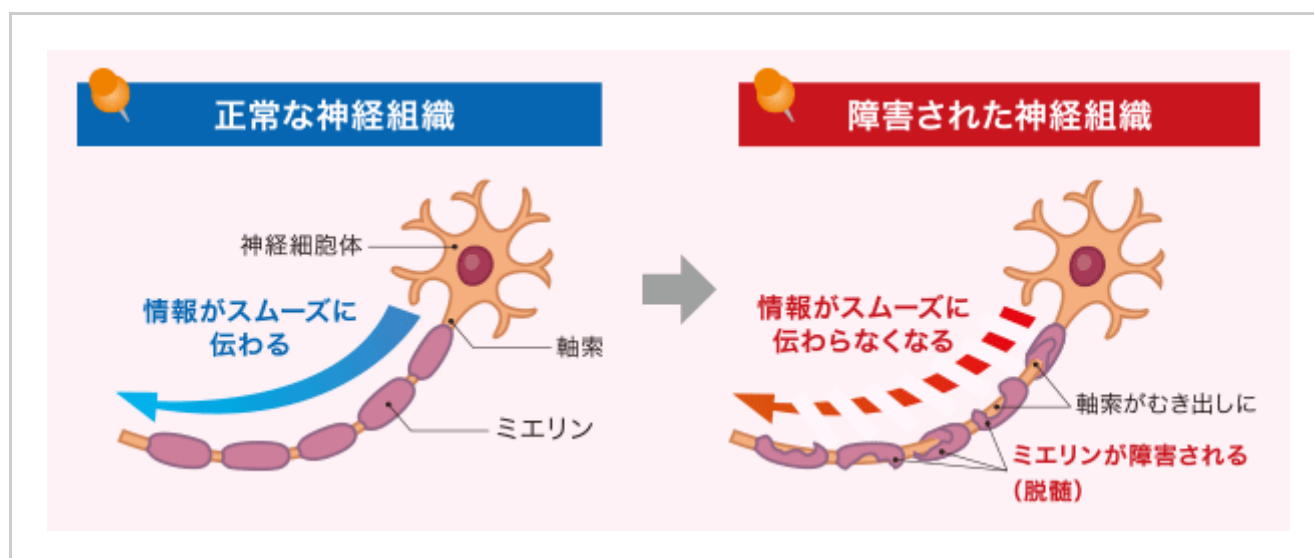
○正常時は、脳の情報の伝達はスムーズ

通常、脳の情報は、神経細胞を介して、体全体へと伝えられています。神経細胞の一部が突起のように長く伸び、脳の情報を伝える“電線”のような働きをするのが軸索です。また、軸索は「ミエリン」という“電線のカバー”のようなもので覆われていて、このミエリンがあるおかげで、脳の情報をスムーズに伝えることができるのです。

○何らかの原因で、ミエリンが障害（脱髄）

しかし、MSでは、ミエリンが何らかの原因で障害され、軸索がむき出しになってしまいます。このように、ミエリンが障害されることを「脱髄」といいます。脱髄が起きた神経で

は、情報がスムーズに伝わらなくなるため、様々な症状が現れるようになります。



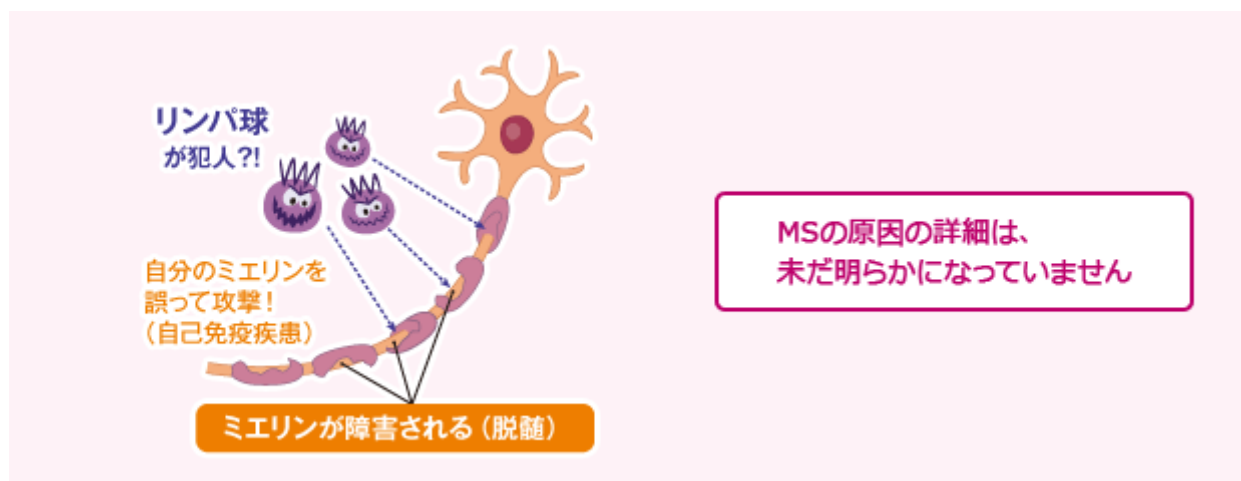
原因は？

「リンパ球」が何らかのきっかけでミエリンを障害（脱髄）させ、MSが起きます —
きっかけは未だ不明—

MSでミエリンが障害（脱髄）される原因として、「**自己免疫**」が関係していると考えられています。自己免疫とは、通常、ウイルスや細菌などの外敵と戦って自分の体を守るために働いてくれる「**リンパ球**」などが、誤って自分の細胞を攻撃してしまうことです。

MSでは、「リンパ球」が何らかのきっかけでミエリンを障害（脱髄）させるのですが、そのきっかけが何なのかは、未だ明らかになっていません。

● MSの原因として考えられているもの



[◉ INDEXへ](#)

[次へ ◉](#)



▶ [関連リンク集](#)



[🏠 HOME](#)

[☰ ページトップ](#)

◉ [多発性硬化症 \(MS\) とは](#)

- [MSはこんな病気です](#)
- [MSの現状](#)
- [MSでみられる症状](#)
- [MS発症後はどうなるのか](#)
- [MSを診断するための検査](#)

● 多発性硬化症の治療

・いつから治療を始めるべきか

・お薬による治療

● 毎日を快適に送るために

・MS患者さんのためのリハビリテーション

・日常生活で注意すべきポイント

・妊娠・出産について —女性の方へ—

📍 サイトマップ

ノバルティス ファーマ 株式会社

ノバルティスについて

リンク集

©2001-2018 Novartis Pharma K.K. All rights reserved except where indicated

